



## 千葉ウエストワイズメンズクラブ 2022年3月 (No.18)

会長 高田一彦 国際会長 キム・サンチェ(韓国) 主題 Y's Men with the World  
副会長 吉崎 勇 アジア太平洋地域会長 大野勉(神戸ポート) 百年を超えて変革しよう  
書記 内田久昭 東日本区理事 大久保知宏(宇都宮) 私たちは次の世代のために何ができるか?  
会計 長尾昌男 関東東部部長 大澤和子(所沢) 私の地域から世界に広げよう 青少年を支えるワイズの輪・和・ワッ!  
担当主事 小林和弘 千葉ウエストクラブ 高田会長主題 ワイズの輪を通して社会貢献を  
\*千葉ウエストクラブ 連絡先 日本基督教団船橋教会 273-0865 船橋市夏見6-6-6 ☎ 047-425-6366

今月の聖句 あなたがたは神に愛されている子供ですから、神に倣う者となりなさい。キリストが私達を愛して、御自分を香りのよい供え物、つまり、いけにえとして私たちのために神に奉げて下さったように、あなたがたも愛によって歩みなさい。(エフェソの信徒への手紙5章1—2節)

### 千葉ウエストワイズメンズクラブ3月例会

< CS、ワイズメネットの月 >

日時：3月19日(土)午後2時~4時

場所：日本基督教団 船橋教会 信徒館

司会 長尾昌男君 受付 岡田裕三君

開会点鐘 高田一彦会長

ワイズソング・ワイズの信条

聖書朗読 吉崎勇君

ビジター・ゲスト紹介

会長報告・YMCA報告

Happy Birthday

小林和弘君、守安久美子さん、高田一彦君

卓話「ワイズ理解講座」 高田一彦君

ドライバー 守安久美子さん

閉会のことば 鈴木秀信君

閉会点鐘 高田一彦会長

◎例会出席者は、高田会長 090-8509-0701

又はメール takawaizu@f7.dion.ne.jp

へお願いします

### 2月のデータ 会員9名

出席者9名(会員9名)

出席率：100%(メーキャップ1名を含む)

ドライバー：7,400円(累計：50,900円)

### 今月の強調テーマ

#### CS (Community Service) 地域奉仕

地域社会への還元と強化は、ワイズメンズクラブ国際協会(YMI)の主要な目的です。私たちは、定期的かつ良心的なボランティア活動と目的を絞った募金活動を通じて、地域レベルだけでなく、世界中に前向きで持続可能な変化をもたらすことを約束します。全人類のためにより良い世界を開発し、奨励し、提供するために協働するグローバルな YMI のネットワークの一部である 加盟クラブは、積極的に地域社会の最前線で前向きで持続可能な変化のために努力しています。各クラブは、奉仕するそれぞれの地域社会と同じように、ユニークで独自の市民活動や協調的な活動を展開し、運営しています。クラブがどのように奉仕するかの方法は、数え切れないほどあります。特に、緊急かつ重要なニーズへの対応やその支援、不平等の解消、人間の基本的ニーズの充足と権利の尊重に重点が置かれています。YMI は、独自のプログラムに加え、資金や時間を提供し、志を同じくする他の価値あるグループを支援することが多く、可能であれば地域の YMCA と連携して機能します。

#### ワイズメネット

(元々はY's Manのパートナーを呼称する名称であるが、女性会員も加わって、独立の組織を作っている)ワイズメネットの国内事業としては、①「YMCA施設への絵本を送る運動」と②「東日本大震災復興支援」がありますが、①については千葉YMCAが運営してる、千城台みらい小学校アフタースクールにも絵本が送られています。また国際プロジェクトとしてはTOFプロジェクトへの支援として、ウクライナ・ザポリツィアでの「脆弱な子供たちが健康的なライフスタイルを普及促進していく手段としてのスポーツと非公的的教育プロジェクト」があります。

## 千葉ウエストクラブ2月例会報告

2月12日(土) 14時～16時 於:船橋教会 信徒館  
出席者:内田、岡田、小林、鈴木、高田、長尾、守安、  
吉崎 (水沼 3/10事務例会参加メーキャップ)

通常の日程と変わり、2月12日に開催された2月例会開催に先立って、信徒館前の雪かきが行われた。開会点鐘、ワイズソング、ワイズの信条、鈴木秀信君の聖書朗読に続いて会長報告がなされた。1月例会は、コロナ感染予防のために、急遽中止となったこと、チャリティーランには、チームレースに1チーム(内田、長尾、水沼、守安、吉崎)、小林君はYのOBチームに、個人レースには高田会長が参加したこと、また子供食堂については、1月31日のトライアルが延期されたこと、などが報告された。YMCAについては、「2021年度冬季千葉YMCAキャンプ報告書」が配布され、3地区YMCA共同によるオンラインによるチャリティーランの紹介、アフタースクール、わんぱくキャンプが無事終了したこと、2月23日はピンクシャツデー(虐待防止)、千葉YMCA総主事の就退任式が3月21日に行なわれることなどが小林担当主事より報告された。本日の卓話は、高田一彦会長の自分紹介で、生い立ちからYMCAとワイズを中心とした話が展開された。(右記自分紹介参照)。ドライバーの一言では、今年度の抱負や、コロナワクチン第3回目の接種についての経験と対策などがにぎやかに話された。その後、吉崎勇君の閉会の言葉、高田会長の閉会点鐘で2月例会の幕を閉じた。

## チャリティーラン結果報告

千葉、とちぎ、ぐんまYMCA協同によるオンラインのチャリティーランの表彰式が3月6日午後1時よりYoutubeにより行われた。その結果は次の通り。

総参加者:363名、走破距離数12,850.75キロ(地球の3分の1周)チームレース(10日間):9位入賞千葉ウエストクラブ(内田、守安、長尾、吉崎、水沼)(平均年齢74歳)、個人レース(9日間):9位入賞(高田)であった。



1位 内田久昭	123,411歩
2位 モリス	103,849歩
3位 長尾昌男	101,347歩
4位 イサム	79,504歩
5位 水沼 昭子	61,526歩

## 自分紹介

## 高田一彦



1942年3月に牧師の家庭に5人兄弟の長男として生まれるが、戦中生まれのため幼児にて栄養失調、肺浸潤(結核)を患い、8歳児には鎌倉の下馬の交差点での進駐軍のジープ衝突のあおりで、満身創痍の重傷を負うが奇跡的に生還することが出来た。大学を卒業して、1968年にIBMに入社し、社内の業務手続の作成やセキュリティシステムの開発に携わったり、基幹業務の開発プロジェクトに関わり、企業戦士の典型として家庭も振り返りの30代後半の生活であったが、40歳になるころ「これでいいのかな?」と自問自答していた時に横浜YMCAの運営委員に誘われてYMCAとのかかわりを持つようになった。その後、横浜YMCAの理事や常議員会議長を経験し、1990年に横浜ワイズメンズクラブに入会する。1996年には日本区最後の吉田一誠理事の下で、YMCAサービス・ASFの事業主任を経験し、済州島におけるユースコンボケーションに若者を大挙30人を派遣し、2年後の十勝大会の若者の手づくりによるユースコンボケーションを実現させたり、その後の世界初のユースクラブ、横浜Y3の設立へと導く。その後、湘南・沖縄部部长や、第10代の東日本区理事やアジア地域会長を歴任する。バンコックのアジア地域大会にて紹介されたのが現在の妻となるが、妻の実家が船橋であったために、横浜から船橋へ転居し、それがきっかけとなって、千葉YMCA、千葉クラブへの移籍となって2020年10月の千葉ウエストクラブの設立へとつながる。

## 国際役員・議員の選挙結果

次次期国際会長はデンマークのウルリック・ラウリドセン氏、次期アジア太平洋地域国際議員には、利根川恵子さん(川越)が選出されました。したがって、利根川さんは次次期のアジア太平洋地域会長となります。

## 今後の予定

- 3/31(木) 千葉ウエスト 事務例会(Zoom) 20:00
- 4/2(土) 関東東部 EMCを考える集い  
Zoom 14:00～16:00 (守安さん出演)
- 4/9(土) 千葉ウエスト/千葉クラブ合同例会  
(ハイブリッド) 18:00～20:00
- 4/16(土) 部評議会 13:00～16:30 (東陽町)  
ワイズ・ナイトフォーラム Zoom 20:00～22:00